

ポイント 7 成功の秘訣は現場見学会にある

では、実際の現場がきちんと管理されているのかどうかは、何を基準にして判断すれば良いのでしょうか。

モデルハウスでは当然判断することはできません。前にもお話しましたが、モデルハウスはユーザーに見せるためだけに作られた、徹底的にお化粧をしている建物です。あなたが見なければいけないのはお化粧をしていない、日常の素顔なのです。その点、現場見学会は家の素顔を見る絶好の機会です。

見学会を頻繁に行っている会社、特に骨組みの段階に行く「構造見学会」を積極的にに行っている会社は信用できます。見せられるということは、自社の仕事に自信を持っているということだからです。現場は第二のモデルハウスと言います。現場を見せないで契約しようとしている業者は要注意です。

車でも、ディーラーで試乗をするのです。三千円の服を買うときでさえ似合うかどうか当ててみるはずです。私は五百円のポロシャツを買うのに、試着する人を知っています。たとえ店員さんがいやな顔をしようとも、自分でお金を払うのですから、納得のいくまでチェックするのは当然です。家づくりで失敗しないポイントも全く同じなのです。

家づくりで失敗しない最大のポイントは、見学会に参加するか、しないかなのです。「どうせ見たって分からないよ」と思う人は、「後悔先に立たず」のことわざ通りになってしまいます。

家づくりで肝心なのは、まず中身です。どのような材料を使い、どのように施工されているか、完成したきれいなモデルハウスだけ見ても中身はどうか判りませんが、価格も適正かどうか判断することも出来ません。

いつでも中身を建築中に見せることのできる業者は、ほぼ信頼できると言っても良いでしょう。但し、現場が整理整頓されていないのは要注意です。

見学会に参加する意味は他にもあります。何度も見学会に来ている人に対しては、